



2022年5月13日

各位

会社名 FRACTALE株式会社  
代表者名 代表取締役社長 堀江 聡寧  
(コード番号 3750 東証スタンダード市場)  
問合せ先 経営企画部長 関本 秀貴  
(TEL. 03-5501-4100)

### 通期連結業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

2021年5月14日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2022年5月13日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想値と実績値の差異について

##### (1) 2022年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2021年5月14日発表）	百万円 2,000	百万円 △180	百万円 △280	百万円 △165	円 銭 △18.94
実績（B）	1,335	△462	△418	△77	△8.79
増減額（B-A）	△664	△282	△138	87	—
増減率（%）	△33.2%	—	—	—	—
（ご参考） 前期実績（2021年3月期）	1,388	△731	△745	△831	△101.64

##### (2) 理由

売上高につきましては、ホテル事業において、当初新型コロナウイルス感染症の影響が2021年の秋頃まで継続し、その後緩やかに回復していくことを想定しておりましたが、夏から秋にかけての回復が鈍く、また、年明けから順次適用地域が拡大していった新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置による行動制限により急激に売上が落ち込んだこと等の結果、予想値を下回りました。

営業損益につきましては、売上の減少分をコスト削減で吸収しきれなかったこと等により、予想値を下回りました。

経常損益につきましては、ホテル事業にて助成金収入を計上したこと等により予想値と実績値の乖離は圧縮されました。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、特別損益に負ののれん発生益及び有価証券売却益を計上したこと等により、予想値を上回る結果となりました。

## 2. 剰余金の配当（期末配当）について

### (1) 剰余金の配当

	決定内容	直近の配当予想 (2021年5月14日発表)	(ご参考) 前期実績 (2021年3月)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

### (2) 理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案して、適正な利益還元を努めております。しかしながら2022年3月期は、新型コロナウイルス感染拡大によって引き起こされた営業活動の停滞・制約が通期連結業績に引き続き甚大な影響を与えたこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失77百万円を計上する結果となりました。つきましては、誠に遺憾ではございますが、2022年3月期の期末配当金を無配とさせていただきます。

以 上